

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	津山美由紀
	全体計画			経費区分	-	内線	3354
事務事業名	10628 精神保健事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	030000 精神保健事業					
事業目的				事業概要・効果			
自殺予防、精神保健の理解のための普及啓発活動を行う 気軽に相談できる相談窓口を充実させる 地域関係者を含めた庁内関係機関と連携し、自殺予防対策を進めるためのネットワークの構築を行う				事業概要 心の健康づくりに関する意識を高めるため、講座等普及啓発活動の事業を実施する 自殺予防対策の取組みとして、相談事業の他に、地域関係者を含めた庁内関係部署と連携し、自殺予防対策連絡会議やゲートキーパー研修を実施する 効果 ・心の健康を保ち、ストレスと上手に付き合う人が増える。 ・自殺者数の減少			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
若年層の自殺予防対策や壮年期の働き盛りの層を対象にした自殺予防対策を実施する。昨年に引き続きこころの健康づくり講座の実施や、企業と連携して講座を開催する。	引き続き、こころの健康づくり講座、うつ病の方の家族教室、企業と連携して働きざかりのメンタルヘルズ講座を実施する。 庁内関係部署と連携し、新たに引きこもりサポーター養成講座の開催する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援事業、普及啓発事業、人材育成、ネットワークの構築） こころの健康づくり講座の開催、こころと暮らしの総合相談会の実施	自殺予防対策計画に基づき事業実施。こころの健康づくり講座の開催。ゲートキーパー養成講座（出前講座）の実施。こころと暮らしの総合相談会の実施（須高地区）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援事業、普及啓発事業、人材育成事業、自殺未遂者支援事業） いのちと暮らしの総合相談会の実施（須高地区）	自殺予防対策計画に基づき事業実施（相談支援、普及啓発事業、人材育成事業、自殺未遂者支援事業） 命と暮らしの総合相談会の実施（須高地区）

指標名	県統計による年間自殺者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標			0	0		
	実績						
指標選定の理由	うつ病や自殺、引きこもり等こころの健康づくりに関する正しい知識を普及することにより、自殺予防を推進した結果の指標となるため。						
最終年度目標の根拠	可能な限り自殺でなくなる方をなくす必要があるため。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		684	743
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	456	502
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		228	241
人員数(人)	正規職員	2.1	2.0
	嘱託職員	0.0	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	15,256.5	14,530.0
	嘱託職員	0.0	565.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	15,256.5	15,095.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		15,940.5	15,838.8

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	122	こころの健康づくり講座100、悩み無料ダイヤル専門相談員謝礼22
11節 需用費	42	研修会の消耗品12、悩み無料ダイヤル周知カード印刷製本30
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	499	長野精神保健福祉協議会25、須高精神保健福祉協議会の負担金474
その他	21	講師旅費18、普通旅費3

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	193	こころの健康づくり講座100、うつ病の方の家族教室講師謝礼30、ゲートキーパー研修30、悩み無料ダイヤル専門相談員謝礼33
10節 需用費	16	研修会の消耗品他
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	497	須高精神保健福祉協議会の負担金497
その他	37	旅費31（こころの健康づくり講座費用弁償、うつの方の家族教室講師費用弁償、精神保健・自殺予防対策研修会普通旅費）、郵便料6

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策基本法に基づき、市民の生命を守りため市が取り組むべき事業である 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発、相談支援、関係機関との連携を強化することが自殺予防を図ることが期待できる 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 財源確保は、地域自殺対策強化事業補助金（県補助金）を充てている 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

自殺者数は、令和元年は平成30年の11人より減少しているが、目標値には達していない。今後も自殺者数の推移は見ていく

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
地域関係者や庁内関係機関と連携し、継続して予防対策に取り組む必要がある。		“連携”を唱えて久しい。明確な連携の仕組み構築が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	